



〈高齢者肺炎球菌の予防接種〉

対象	接種場所	接種回数	接種料金	備考
① 平成31年4月2日～令和2年4月1日の間に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳の誕生日を迎える方、100歳以上の方で接種を希望される方	愛西市、津島市、弥富市、あま市、海部郡の指定医療機関	1回	2,000円	・①の対象の方には、4月に「高齢者肺炎球菌予防接種券」と案内を送付しています。 ・②の対象の方は、手続きが必要です。お問い合わせください。 ※事前に医療機関への予約が必要です。
② 満60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器に障害のある方(身体障害者手帳1級程度)またはヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に障害のある方				

※愛知県広域予防接種について

子どもおよび大人の予防接種について、疾病や里帰りなどの事情で区域外の医療機関にかかっている場合、愛知県内の広域予防接種協力医療機関で接種することができます。事前に手続きが必要です。

〈大人の風しんワクチン接種費用の助成について〉

市内在住で、妊娠を予定または希望している女性(経産婦・妊娠中の方を除く)で、抗体価が低いと判定された方(愛知県が抗体検査の費用助成を行っています)に対し、風しんワクチンまたは麻しん風しん混合ワクチンの接種費用の一部を助成します。(ただし、風しんワクチンまたは麻しん風しん混合ワクチンの予防接種を受けたことがある方、風しんにかかったことがある方を除く)

〈昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性の方へ〉

風しんの予防接種を受ける機会がなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性は、抗体保有率が他の世代に比べて低く(約80%)なっています。

そのため、予防接種法に基づき、令和4年3月31日までの3年間に限り、風しん抗体検査・予防接種が公費で受けられます。

対象者の方には、クーポン券を利用して抗体検査を受けていただき、その結果、抗体が低い方は予防接種の対象となります。詳細につきましては対象者にお送りするご案内でご確認ください。

対象者	クーポン券発送時期
昭和47年4月2日～昭和54年4月1日生まれ	令和元年度にクーポンを発送(6月下旬)
昭和37年4月2日～昭和47年4月1日生まれ	令和2年度以降にクーポン券を発送予定 ただし、令和元年度中に抗体検査等の希望があればクーポン券を送付しますので健康推進課(佐屋保健センター)にご連絡ください。



歯の健康講座

「歯周病はうつるか？」

歯周病は歯周病原菌が原因で発症する。細菌だけが全ての原因ではないが、細菌が関与するため感染症と考えられている。

歯肉炎は細菌の蓄積を放置すると歯肉が腫れたり、出血する感染症だが、歯を支えている骨(歯槽骨)は吸収しないので歯を失うことはない。問題は歯槽骨が溶けて歯を失う歯周炎だ。研究によると歯周病原菌は、大体20歳くらいまでに感染し30歳くらいから歯周炎を発症し始める。はじめは無症状だが静かに病気が進行し、時には歯を失う重篤な疾患になる。

感染ルートは、接吻、直箸など、他人の唾液が自分の口の中に入るものは全て可能性として考えられる。夫婦

も長期間生活を共にしているとうつるとの研究もある。

結論は「うつる」だが、母親が赤ちゃんにスプーンを口移しするのは大丈夫。接吻も大丈夫。確かに細菌はうつるが、うつった細菌ですべてが発症するとは限らないのである。

そもそも母親と赤ちゃんがスプーンや箸を分けて使うことなんてナンセンスだし、一緒に生活するということが家族というものである。口とは愛を伝える大切な臓器であるから、日常生活からそういった行為を切り離すことは難しい。

ではどうしたら発生の危険から歯を守れるのだろうか。そのためにはまずかかりつけの歯科を作ること。定期的に歯周病検査を受け、クリーニングを受け、個々に合った正しいブラッシングの方法を歯科で学び、身に付けることで、悪玉菌の増殖を抑える。常に良い状態を維持することで、歯周病によるお口の中の崩壊を遅らせる。壊れたものは治らないが、壊さないようにすることはできる。かかりつけの歯科医院に定期的に受診しよう。

(海部歯科医師会)